

## こども園における自己評価

今年度における蓮代寺こども園の自己評価の結果がまとまりました。この結果を踏まえ今後の教育・保育の質の向上とこども園運営に努めてまいります。

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・園だよりやクラスだより、ドキュメンテーション等において、園の理念や教育・保育方針等について具体的な場面を用いてお伝えしている。途中入園の保護者や中途採用の職員にも説明し周知されるよう努めていく。</li> <li>・毎年「人権擁護のセルフチェック」を基に話し合いを行っている。それに加え、今年度は児童虐待のガイドラインが改定されたことを受け、園内研修で話し合い、振り返りを行った。子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育を行うために職員一人一人が職務についてを理解していくことや職員同士が語り合うことを大切にしていく。</li> </ul>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか		○			
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか		○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・連続性をもった教育保育が意識できるよう日誌と週案を一体化させた様式に変え、毎週末クラス内で振り返りの時間を設けている。また、年齢毎の押さえや次年度への申し送りについて園全体で共有することに努めている。</li> <li>・各行事や活動においては、子どもの主体性を大切にし、発達や興味に添ったものを行っている。行事後の保護者からの感想や意見を大切にしながら“子どもにとって何が大切か”を中心に検討している。</li> </ul>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	○				
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの安全安心を土台とした生活が送れるよう一人一人を大切に保育を心掛けている。子どもの姿から環境を再構成していくことにおいては、課題点を挙げながら話し合いを深めていきたい。</li> <li>・給食担当者と保育者との連携が十分になされていることから、一人一人に合った食事の提供やクラスで挙がった食育活動等に生かされている。</li> <li>・1歳児クラスからリズムの時間を持ち、ピアノに合わせて全身をのびやかに動かすことを繰り返し、体作りの1つとしている。</li> <li>・クラスだよりやドキュメンテーション等を保護者に配信しているが、今年度2～5歳児のクラスだよりでは、保育の場面で見られた姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に照らし合わせ、わかりやすくお伝えした。保育者自身も子どもの育ちを捉えたり、子どもの学びを整理したりすることにつながった。</li> <li>・3歳以上児クラスでは、朝の集まりやサークルタイムにおいて、子どもたちから挙がってきた遊びや活動の提案を生かした教育保育が展開できるよう心掛けている。</li> </ul>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	○				
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			
	(9) 子ども自身が自分を肯定する気持ちを育んでいけるよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(10) 保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			<p>・配慮を必要とする子への関わりについて、専門機関の助言を受けながら実践している。また、よりよい対応がとれるよう家庭の様子や保護者の思いをお聞きしながら園の取り組みについてもお伝えするなど適宜面談を行っている。</p> <p>・今年度、法人内の公開保育を実施し、小学校より2名の参加があり、園での遊びを通しての育ちの姿を見ていただく機会が得られた。今後は継続に向けてさらに進めていきたい。</p>
	(11) 障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12) 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1) 子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・年長児クラスのみ行っていた個人懇談を3、4歳児クラスにも実施した。行事の少ない0、1歳児クラスにおいては保育参加を年2回実施し、保護者と子どもの成長の様子を伝え合うなど相互理解に努めた。また、長らく実施のなかった子育て講演会を開催し、「集団生活における子どもの社会性の育ち」について保護者の理解が得られた。</p> <p>・市主催の虐待対応研修への参加や園長による“不適切保育と虐待”の講義で職員の周知を図った。</p>
	(2) 虐待に対応できる園内の体制（医療機関、児童相談所など専門機関との連携）の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3) 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・看護師指導の下、事故発生時での救急体制の在り方や吐物処理等を全職員で研修している。また、4、5歳児を対象に年数回保健指導が実施しされていることから子ども自身が自分の健康に関心を示している。</p> <p>・毎月、災害の種類や時間帯を変えながら避難訓練を実施しているが、今後は想定内容をより具体的に絞り込み様々な場面での対応力がつけられるようにする。</p> <p>・全職員参加のもと園内研修を行っているが、外部研修には自ら求めて参加することは少ない。そういった中で外部施設の視察研修や法人内見学の希望が挙がり実施した。主体的に自園や自身の課題と向き合う機会となった。</p> <p>・事業計画に関して保護者の実際の周知度については分かりかねるが、園だよりの掲載回数を増やすなどしていく。また、職員に対しては理解の必要性を伝え掲示などしていく。</p> <p>・中途採用者の業務説明においても保護者や子どもに関して知り得た事柄は、プライバシーの保護のため適正に取り扱い、秘密保持等を遵守する旨を伝えている。全職員でその自覚に努め、保護者との信頼関係を一層構築していく。</p> <p>・保護者からのご意見や苦情内容には速やかな対応に努め、必要に応じて相談室にて対応している。</p> <p>・自己評価後に職員の相互理解に向けて共有すべき点の話し合いを行っている。</p>
	(2) 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3) 避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか		○			
	(4) 地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか		○			
	(5) 施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努めているか		○			
	(6) 研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7) 事業計画が職員に周知されているか			○		
	(8) 事業計画が利用者に周知されているか			○		
	(9) 守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10) 個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか		○			
	(11) 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12) 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13) 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14) 個人の評価結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			

施設関係者評価

--

## 蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

「がめつき音頭」「蓮代寺太鼓」等文化の継承、地域の者として感謝申し上げます。

行事内容等、昨年度のアンケート結果を踏まえ検討されたことが伺えました。

アンケートではいろいろな意見もありますが、しっかりと園の考えを伝えることも大切なことですので、丁寧に具体的に保護者の方に伝えてください。

自己評価の中で、事業計画が職員に周知されているかの項目について、評価が低い

のが気にかかりました。今後は話し合い等で理解の必要性を伝えたりし共通理解を

持って教育・保育に取り組んでください。発表会を見せていただいたのですが、

日頃の保育から繋がり子どもたちの主体的な活動だったと感じられました。今後も

子どもひとりひとりの可能性を大切にしながら寄り添う実践を積み重ねていってくだ

さい。接続については難しい問題ですが、小学校とのスムーズな連携よろしく

お願い致します。

令和 8 年 3 月 15 日

役職等 監 事

氏名 嘉藤 恵子



## 蓮代寺こども園の園の評価結果に対する意見・コメント

クラスだよりやドキュメンテーション等の配信によって、保護者に対して蓮代寺こども園の教育・保育への取り組みを丁寧に伝えていて、保護者アンケートからも保護者がその内容に満足していることがわかります。

加えて、今年度からは保育の場面で見られた姿を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」に照らし合わせてわかりやすく伝えることを始めており、そのことが保育者自身の教育・保育の質の向上につながったということなので、今後も続けていってほしいと思います。

また、金曜日に保育の振り返りをする時間を設けたことは、保育者がお互いに意見交換したりこれからも取り組むべき課題を共有したりすることにつながると思います。今後の研鑽に期待しています。

令和 8年 3月18日

役職等 監 事

氏 名 森 和 美



## 蓮代寺こども園の評価結果に対する意見・コメント

○全体的に教育・保育の質の向上に努めていることがうかがえます。

- ・職員同士の語り合いや、クラス内での振り返りを行っている。
- ・子どもの姿から発達に合わせた環境の再構成を行い、課題点を挙げながら話し合いを深めようと心掛けている。
- ・個人懇談だけでなく、配慮を必要とする子には、専門家の助言を受け実践。また、保護者と適宜面談をし、保護者の思いを聞いたり園の取り組みを伝えたりしている。
- ・健康、安全、衛生、守秘義務など研修や実践を行っている。

○職員による“事業計画”の周知の工夫をしておく。

○アンケートからうかがえる「10の」の説明に工夫していこう。

○配慮を必要としている子どもも、育ちや遊びに添った環境を準備し、発表会や運動会につなげていくと良い。

令和8年 3月3日

\_\_\_\_\_  
役職等 監事

\_\_\_\_\_  
氏名 中田 眞知子

